



みんなのひろば



中井琳菜 (中山中学校3年)

みなさんが考える大山町の魅力は何ですか。人それぞれ思い浮かぶことは違うと思いますが、私は「人と人との関わり」だと思います。その「人と人との関わり」をさらに魅力的にするために私は「ポラン

私が大山町長になつたら

ティア活動の研修」を政策として行いたいと思います。
私の学校には「あいさつ運動」や「朝の読み語り」など、ポランティアの方がたくさん来てくださいます。地域の方がこのように応援して

くれているのだと思うと、なんだかうれしくなります。ポランティアという、私としては難しくても自分のできるか不安になってしまいます。ですから、「こんな活動をしてみたい!」と興味を持つている人を対象に、ベテランの方々と交流するなどして、自信をうけてもらいたいです。そして、ポランティアの輪を広げ、人と人との関わりにあふれる大山町になればいいと思います。



大森理功 (大山中学校3年)

僕が町長になつたら、まず大型商業施設を作りたいと思います。大山は自然を体感できる場所が多く、たくさんの人を迎えることが可能です。
しかし、雨などの天候の関係

町長になつたら

で観光客の数が左右されるといふ欠点があると思います。そこで雨の日でも魅力ある場所を作りたいと考えました。
また、地元の人でも買い物をしなくても米子まで出ないと買え

ない物もたくさんあるので、特に車を運転しない人たちにとっては便利だと思います。そうして売り上げの一部を町が、他の活動の資金として使うシステムを作れば、観光施設の整備を行うための支援金を渡すことができます。それによって、よりいっそう観光業も発展し、商業と観光業の両立ができる町が作れると思います。



大城莉那 (名和中学校3年)

もしも私が町長になったら、バリアフリーが整った公共施設を作りたいです。高齢化が進む大山町ですが、それにはバリアフリーが整っておらず、高齢者の方が外出しにくい町になっていると思います。

皆が楽しく住める大山町を目指して

外出が減ると他人と交流の機会も減ってしまい、住んでいて楽しくない町になってしまいます。だから高齢者の方も来やすいバリアフリーの整った施設を二つ、町の中心に作り、暇な時など、町民が自然と

集まってくるような場所に使いたいです。さらに、そこで高齢者の方ならではのイベントも開きたいです。若い頃にやっていた仕事を生かしたイベントを開くことで、その仕事に興味のある子どもたちも集まります。子どもも大人も集まるいつでも楽しい施設を作って、住んでいて楽しいと思える大山町を作りたいです。

あとがき

9月末の日曜日、台風24号が日本列島を通過しました。大山町内では、各種イベントの多くが中止になったほか、土砂崩れや耕地災害が発生し、農作物にも大きな被害が出ました。
夕刻には町内各地に避難指示が出され、一時は98人の避難者がありました。避難所に行くか、自宅で様子を見るか、迷われた方もあったと思います。
根柢なく、逃げなくてもなんとかなるだろう、と考えてしまつたことを「正常化の偏見」と言い、災害から逃げ遅れる原因とされています。
幸いにも、町内では人的被害はありませんでしたが、いざという時は、「自分は大丈夫」と過信せず、早めの避難を心掛けたいものです。(近藤)